



防災・災害対策分野の取組



目標

桜島地域における
避難体制の再構築

取組

- ・住民の避難状況の把握
- ・避難行動要支援者の避難体制確立
- ・避難訓練の充実強化

桜島火山爆発総合防災訓練

取組の一つである「避難訓練の充実強化」を図るため、毎年度様々な状況を想定した訓練を実施しています。今回は、令和6年1月に大正噴火 110 年を迎える節目の訓練として、子どもたちに対する火山防災教育や「大正噴火 110 年パネル」の展示など、過去の教訓を次世代に継承する取組も実施しました。

住民避難訓練（令和5年11月11日実施） 場所：桜島全域

～大正噴火110年、次世代へつなぐ実際の住民避難訓練～

☆主な訓練の内容

- ① 住民への避難計画の周知・説明
- ② 「避難完了板」を活用した住民の避難行動と防災関係機関による避難状況の把握
- ③ 避難促進施設（小・中学校）からの避難行動
- ④ 次世代を担う小・中学生に対する火山防災教育
- ⑤ 住民の避難状況把握と防災関係機関の円滑な活動に資するため、BLE タグ*の実証実験を実施

※BLE (Bluetooth Low Energy) タグ
微弱の電波を発するICタグを所持する人が、受信機付近を通過することで、位置情報や通過時刻を記録するシステム



小学生の避難行動



消防団による避難支援



大正噴火 110 年パネル



中学生への火山防災教育

避難所体験・展示訓練（令和6年1月13日実施） 場所：名山小学校

☆主な訓練内容

- ① 住民に対する市街地側への大量降灰時における避難の説明
- ② 避難所体験訓練
- ③ 人命救助及び応急復旧に関する展示訓練
- ④ 自衛隊等による炊出し訓練
- ⑤ 児童に対する火山防災教育
- ⑥ 大正噴火 110 年パネル展



名山小学校の児童など訓練の参加者にセーフコミュニティの取組についても説明しました！！



大規模噴火対策説明



避難所体験訓練



応急復旧の展示訓練



6年生への火山防災教育